

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 18 日

評価対象事業		評価者	歴史まちづくり推進担当担当課長 森 啓 匡		
歴史-01	実施事業	世界遺産条約登録事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	歴史まちづくり推進担当
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	歴史的遺産と共生するまちづくり	施策の方針	歴史的遺産と共生するまちづくり	

1 事業の目的

対象	鎌倉の歴史的遺産
意図	鎌倉の歴史的遺産を世界遺産一覧表へ登録するため。
効果	鎌倉の歴史的遺産を確実に後世に伝えるとともに、古都としての風格を保った鎌倉らしいまちづくりに資する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、再推薦に向けた推薦書案作成のための活動を一時休止することを決定し、その旨を記者発表して市民・県民への周知を行った。 ・平成26年度から取り組んだ比較研究、連続講座及び報告会、平成29年度に行った龍門石窟研究院(中国)とのやぐらに関する学術会議の内容をまとめた報告書を作成した。 ・世界遺産登録をめざす活動の内容や今後の方針等を市民・県民に報告する会を令和2年3月に実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を延期した。 ・準備状況報告書を作成し、文化庁に提出した。 ・ツイッターによる情報発信を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		データ区分	02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人 口	176,308人		176,436人		人 口	176,608人		・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	81,763世帯		82,444世帯		世 帯 数	83,058世帯		
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	6,740	6,781		当初予算(千円)	550		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	6,740	6,781		一般財源	550		
事業経費運営	人員配置数	1.5	1.0		人員配置数	0.4		
	人件費(千円)	11,440	8,065		人件費(千円)	6,180		
	総事業費(千円)	18,180	14,846		総事業費(千円)	6,730		
	市民1人当りの経費(円)	103	84		市民1人当りの経費(円)	38		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	1. 廃止・休止による影響はない
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-1. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直し <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・鎌倉の価値をブラッシュアップさせるための調査・研究の拡充を図る。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進めてきたが、イコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築には至らず、4県市合同での推薦書案作成に係る活動は一時休止することを決定した。今後は、連絡調整の機会は保持するものの、調査・研究活動については、各市でそれぞれ行うこととし、再推薦に向けた新たなコンセプトの構築に至ったとき、再度、合同での活動を実施することとした。 世界遺産登録をめざす活動の内容や今後の方針等を市民・県民に報告する会を令和2年3月に実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を延期した。

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	<p>神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、世界遺産登録に結びつくコンセプトの再構築の検討を進めてきたが、イコモスが認める「顕著な普遍的価値」に到達できる新たなコンセプトの構築まではさらに多くの時間が必要であると結論付けた。今後の推進委員会の方向性を確定し、市民県民に発表する必要がある。</p>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<p>・神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進委員会において、再推薦に向けた推薦書案作成のための活動を一時休止することを決定し、その旨を記者発表して市民・県民への周知を行った。</p> <p>・これまでの活動内容と成果を報告するため、平成26年度から取り組んだ比較研究、連続講座及び報告会ならびに平成29年度に行った龍門石窟研究院(中国)とのやぐらに関する学術会議の内容をまとめた報告書を作成した。</p> <p>・これまでの活動内容と成果を報告し、今後の活動方針を示す報告会の開催を企画した。</p>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<p>・世界遺産登録をめざす活動の内容や今後の方針等を市民・県民に報告する会を令和2年3月に実施する計画だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を延期した。</p> <p>・鎌倉の価値をブラッシュアップするため、鎌倉固有の文化財であるやぐらの調査を行うことが考えられる。教育委員会と協力し、発掘調査等の実施を検討する必要がある。</p>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	暫定リスト掲載の文化遺産の登録状況									
団体名	古都鎌倉の寺院・神社他	彦根城	飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	金を中心とする佐渡鉱山の遺産群	百舌鳥・古市古墳群	平泉-仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群-(拡張)		
他市実績				H30登録			R1登録			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<p>奄美の自然遺産が令和2年に登録勧告の予定であったが、世界遺産委員会が新型コロナウイルス感染症の影響により延期となったため勧告が行われていない。日本国は、自然遺産と文化遺産を交互に1年1件の推薦としているので、今後の登録推薦は計画が繰り延べとすることが予想される。</p>
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	新たなコンセプトの確立に資する比較研究成果の獲得					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
再推薦・登録に向けた取組を進めるなかで、比較研究において成果を得ることが、新たなコンセプトを確立するための重要なステップとなるため。	目標値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	30.0	60.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
指標の内容	講演会等の実施回数					単位	回	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
比較研究において得られた成果を含め、「鎌倉」の価値や魅力について公表する有力なツールであるため。	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0			令和元年度(2019年度)は、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期した。
	実績値	1.0	4.0	9.0	1.0	0.0	0.0			
	達成率	100.0%	400.0%	900.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--